

一般社団法人 日本インテリアコーディネーター協会、活動開始

職能を確立し認知度高める

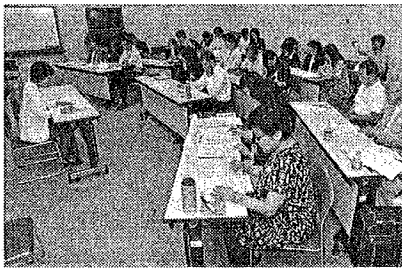
インテリアコーディネーターが真の職能者を目指して動き出した。資格制度が発足して30年経つが社会的に職業として成り立っていない現状を打開するために、有志が集まって、この4月一般社団法人「日本インテリアコーディネーター協会」(通称i-con||アイコン)を設立し、8月から本格的な活動を開始した。

ビジネス機会把握にも注力

臨時社員総会が8月3日開催され、役員を選出し、事業計画が承認された。会長にはインテリアコーディネーターの先駆者として知られる村上英子氏が就任した。協会の設立目的は、インテリアコーディネーターの職業能力を高め、社会的認知度を上げてビジネス機会をつかめるようにすることにある。



①臨時社員総会で挨拶する村上英子会長②総会の模様



資格制度発足後30年経ち、5万7000人の資格取得者を生んできたものの、多くのインテリアコーディネーターは職能者として自立しえていない。このような実態を改善するためには、従来のインテリアコーディネーターの任意団体ではなく、「今まで存在しなかった全国をカバーした職能団体の必要性を痛感した」と森山恵副会長は話している。既存団体の多くは、会員減少や運営面の厳しさなど共通の問題を抱えている。それを解決するために、全国的に一つのまとまった団体をつ

くったという。既存の団体との関係に

ついては、日本インテリアコーディネーター協会には個人のインテリアコーディネーターの有資格者が入会の単位なので、既存の団体と両方に入会することはできる。ただし、首都圏のあるインテリアコーディネーター団体は年度内に解散してアイコンに結集することを決めているといわれる。

8月30日現在のアイコンの会員数は70人。将来は、5000〜1万人を目標にしている。総会で決めた事業活動は①インテリアコーディネーターの間の結束を強める活動②インテリアコーディネーターの存在を広く知らせるブランディングとPR活動③インテリアコーディネーターの仕事を支援④スキルアップ講座の開催⑤インテリアのこれ

おかげさまで40周年

NDstyle®

野田産業株式会社
http://www.ndstyle.jp

からを考える、など。会員には一般会員とビジネス会員がある。一般会員は認定資格登録者、

ビジネス会員は認定資格登録者かつフリーランスインテリアコーディネーターとして事業を営んでいることが条件になる。ビジネス会員に対しては、個人で受注できない物件をアイコンで受けることも考えている。主な役員は次の通り(敬称略)。会長||村上英子、副会長||森山恵、専務理事||林柳江、理事、事務局長||若宮直行。

JAPAN SPECIALIZED NEWSPAPERS ASSOCIATION

あらゆる産業分野から厳選された
専門新聞・通信社が加盟

読者総数 **1,200** 万人

公益社団法人 日本専門新聞協会
平成24年4月1日、公益社団法人になりました。

〒105-0001
東京都港区虎ノ門1-2-12 第2興業ビル
TEL03-3597-8881 FAX03-3508-8888

www.senmonshinbun.or.jp/